

景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

郵送による無記名アンケート方式
調査時点 平成27年3月2日発送
平成27年3月13日投函期限
調査対象 信用保証利用先1,500企業
有効回答数 351 企業(回答率 23.4%)

※ 当期: H27年1月～3月実績見込
次期: H27年4月～6月期予測

【DI値について】

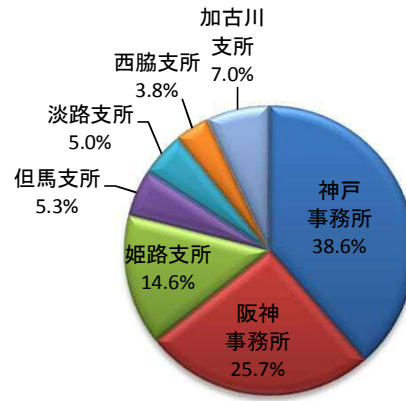
- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

I. 貴社の概要について

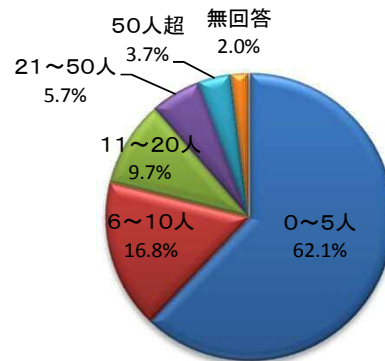
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	132	38.6%
阪神事務所	88	25.7%
姫路支所	50	14.6%
但馬支所	18	5.3%
淡路支所	17	5.0%
西脇支所	13	3.8%
加古川支所	24	7.0%
小計	342	100.0%
地域不明・無回答	9	-
合計	351	-



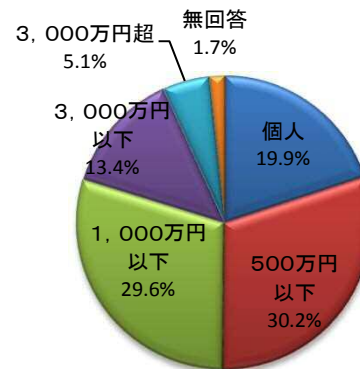
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	218	62.1%
6～10人	59	16.8%
11～20人	34	9.7%
21～50人	20	5.7%
50人超	13	3.7%
無回答	7	2.0%
合計	351	100.0%



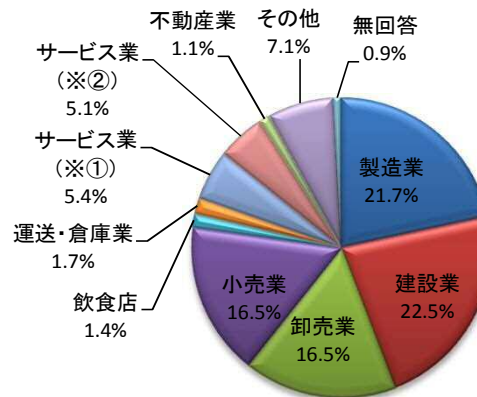
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	70	19.9%
500万円以下	106	30.2%
1,000万円以下	104	29.6%
3,000万円以下	47	13.4%
3,000万円超	18	5.1%
無回答	6	1.7%
総計	351	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	76	21.7%
建設業	79	22.5%
卸売業	58	16.5%
小売業	58	16.5%
飲食店	5	1.4%
運送・倉庫業	6	1.7%
サービス業(※①)	19	5.4%
サービス業(※②)	18	5.1%
不動産業	4	1.1%
その他	25	7.1%
無回答	3	0.9%
合計	351	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(15年1～3月期)は、前期(14年10～12月期)に比べどのような状況ですか。
 (2) 次期(15年4～6月期)は、当期(15年1～3月期)に比べどう思いますか。

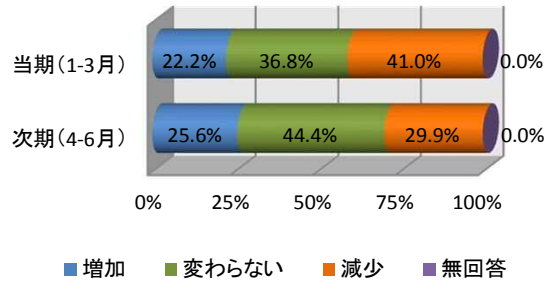
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	78	22.2%
変わらない	129	36.8%
減少した	144	41.0%
無回答	0	0.0%
総計	351	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	90	25.6%
変わらないと思う	156	44.4%
減少すると思う	105	29.9%
無回答	0	0.0%
総計	351	100.0%



生産・売上DI(増加-減少)

調査時期(実績)	2013年1～3月	2013年4～6月	2013年7～9月	2013年10～12月	2014年1～3月	2014年4～6月	2014年7～9月	2014年10～12月	2015年1～3月	2015年4～6月(見込み)
兵庫県	▲ 22.0	▲ 23.2	▲ 13.1	1.2	▲ 7.3	▲ 13.4	▲ 11.3	▲ 8.7	▲ 18.8	▲ 4.3

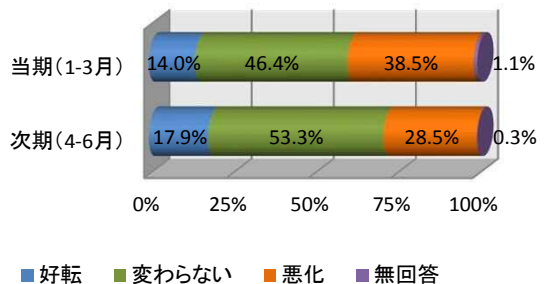
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	49	14.0%
変わらない	163	46.4%
悪化した	135	38.5%
無回答	4	1.1%
総計	351	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	63	17.9%
変わらないと思う	187	53.3%
悪化すると思う	100	28.5%
無回答	1	0.3%
総計	351	100.0%



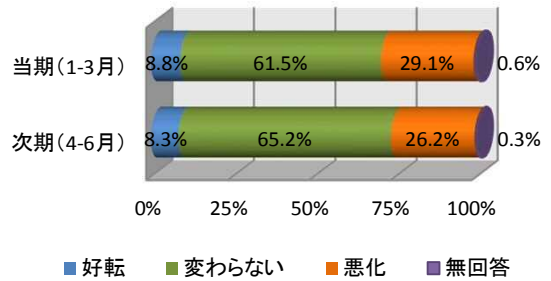
採算DI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2013年1～3月	2013年4～6月	2013年7～9月	2013年10～12月	2014年1～3月	2014年4～6月	2014年7～9月	2014年10～12月	2015年1～3月	2015年4～6月(見込み)
兵庫県	▲ 25.4	▲ 31.8	▲ 19.7	▲ 13.0	▲ 19.7	▲ 24.0	▲ 24.5	▲ 18.0	▲ 24.5	▲ 10.5

【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	31	8.8%
変わらない	216	61.5%
悪化した	102	29.1%
無回答	2	0.6%
総計	351	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	29	8.3%
変わらないと思う	229	65.2%
悪化すると思う	92	26.2%
無回答	1	0.3%
総計	351	100.0%

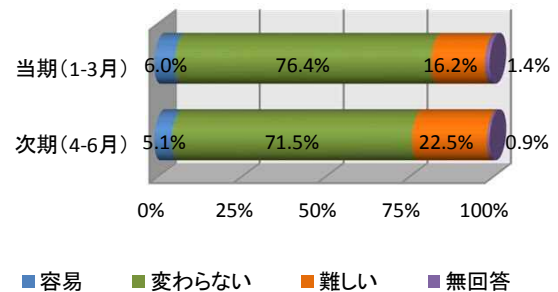
資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2013年1~3月	2013年4~6月	2013年7~9月	2013年10~12月	2014年1~3月	2014年4~6月	2014年7~9月	2014年10~12月	2015年1~3月	2015年4~6月(見込み)
兵庫県	▲ 21.4	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 12.2	▲ 14.6	▲ 15.5	▲ 16.5	▲ 15.3	▲ 20.2	▲ 17.9

【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	21	6.0%
変わらない	268	76.4%
難しくなった	57	16.2%
無回答	5	1.4%
総計	351	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	18	5.1%
変わらないと思う	251	71.5%
難しくなると思う	79	22.5%
無回答	3	0.9%
総計	351	100.0%

借入難易感DI(容易-難しい)

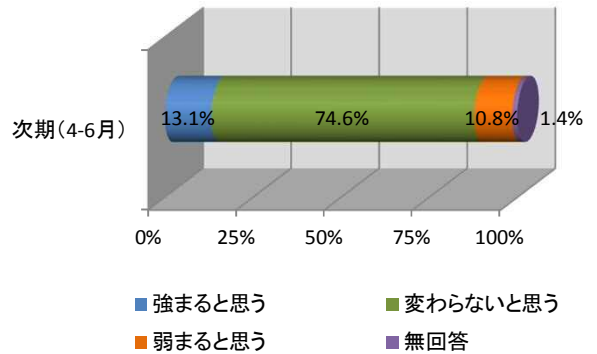
調査時期(実績)	2013年1~3月	2013年4~6月	2013年7~9月	2013年10~12月	2014年1~3月	2014年4~6月	2014年7~9月	2014年10~12月	2015年1~3月	2015年4~6月(見込み)
兵庫県	▲ 14.6	▲ 15.6	▲ 12.5	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 11.7	▲ 8.0	▲ 5.7	▲ 10.3	▲ 17.4

当期(1-3月)は、いずれのDI値も前回調査(10-12月)に比べ悪化しており、「生産・売上」の悪化が顕著です。次期(4-6月)は、「生産・売上」「採算」が改善するとの見方が多く、「資金繰り」についても緩やかな改善が見込まれます。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	46	13.1%
変わらないと思う	262	74.6%
弱まると思う	38	10.8%
無回答	5	1.4%
総計	351	100.0%



信用保証付要請DI(強まる－弱まる)

調査時期 (見込み)	2012年 10～12月 (1～3月)	2013年 1～3月 (4～6月)	2013年 4～6月 (7～9月)	2013年 7～9月 (10～12月)	2013年 10～12月 (1～3月)	2014年 1～3月 (4～6月)	2014年 4～6月 (7～9月)	2014年 7～9月 (10～12月)	2014年 10～12月 (1～3月)	2015年 1～3月 (4～6月)
兵庫県	11.9	6.6	8.9	5.6	6.4	5.9	4.4	8.0	3.6	2.3

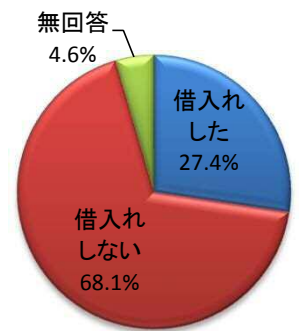
金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ. 当期(15年1～3月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
 ※手形の割引は含めません

選択肢	15年1～3月期		14年10～12月期	14年7～9月期	14年4～6月期	14年1～3月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	96	27.4%	30.3%	27.5%	25.3%	27.6%
借入れしない	239	68.1%	67.0%	68.0%	70.6%	68.5%
無回答	16	4.6%	2.7%	4.4%	4.1%	3.9%
総計	351	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

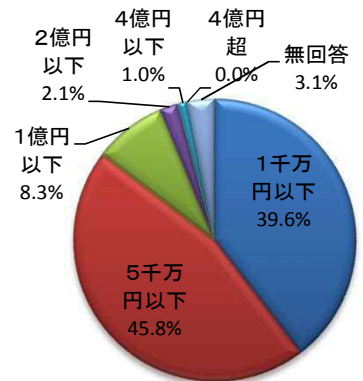
当期の借入れは、前回調査と比べ、2.9ポイント減少しています。



当期に借入れした総額はいくらですか。

借入れ総額	15年1～3月期		14年10～12月期	14年7～9月期	14年4～6月期	14年1～3月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	38	39.6%	36.6%	47.0%	46.2%	50.0%
5千万円以下	44	45.8%	44.6%	35.0%	39.8%	34.7%
1億円以下	8	8.3%	8.9%	8.0%	7.5%	10.2%
2億円以下	2	2.1%	4.0%	4.0%	2.2%	2.0%
4億円以下	1	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%
4億円超	0	0.0%	0.0%	1.0%	1.1%	1.0%
無回答	3	3.1%	5.0%	5.0%	3.2%	1.0%
総計	96	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

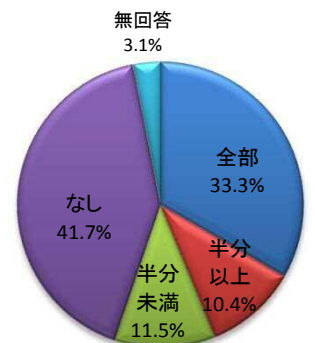
前回調査と比べ、当期の借入総額は「1千万以下」「5千万円以下」の合計が4.2ポイント増加し、5千万円超では合計で2.5ポイント減少しています。



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

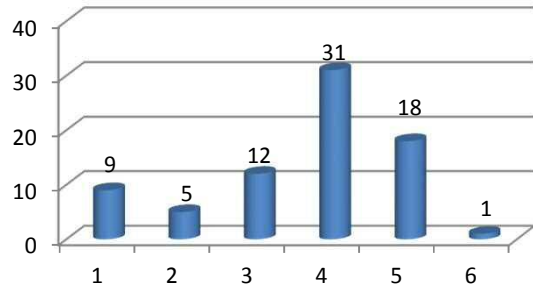
選択肢	15年1～3月期		14年10～12月期	14年7～9月期	14年4～6月期	14年1～3月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	32	33.3%	37.6%	25.0%	30.1%	26.5%
半分以上	10	10.4%	11.9%	18.0%	18.3%	14.3%
半分未満	11	11.5%	9.9%	12.0%	11.8%	10.2%
なし	40	41.7%	36.6%	42.0%	36.6%	48.0%
無回答	3	3.1%	4.0%	3.0%	3.2%	1.0%
総計	96	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

前回調査と比べ、信用保証付き借入れの割合は「全部」とする回答が、4.3ポイント減少しています。また「なし」とする回答が5.1ポイント増加しています。



上記の信用保証付き借入れの割合が「全部」「半分以上」または「半分未満」と答えた方にお尋ねします。信用保証を利用した理由は何ですか(複数回答)。

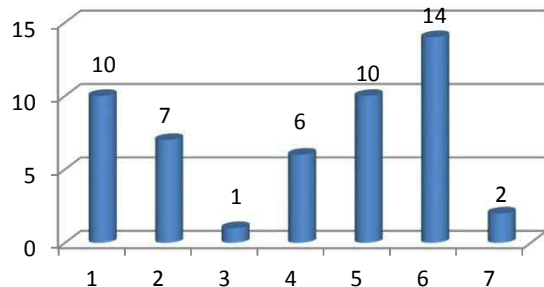
選択肢	回答数
1 自治体の制度融資を利用したため	9
2 担保・保証人不足だったため	5
3 長期資金の調達ができるため	12
4 金融機関が保証付きを求めたため	31
5 既往の保証付き借入れの借換えのため	18
6 その他	1
総計	76



信用保証を利用した理由は「金融機関が保証付きを求めたため」が最も多く、次いで「既往の保証付き借入れの借換えのため」となっています。

上記の保証付き借入れの割合が「なし」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか(複数回答)。

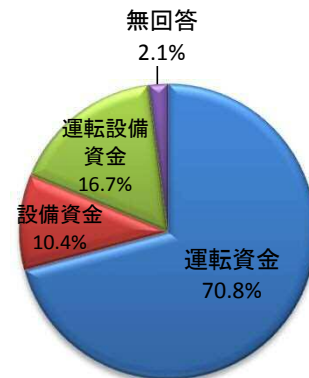
選択肢	回答数
1 保証料の負担を避けるため	10
2 保証を付けない借入れの借換えだったため	7
3 保証枠を既に使っていたため	1
4 すぐに必要な資金であったため	6
5 短期資金であるため	10
6 金融機関から保証を付けない融資の勧誘を受けたため	14
7 その他	2
総計	50



保証付き借入れがない理由は「金融機関から保証を付けない融資の勧誘を受けたため」が最も多く、次いで「保証料の負担を避けるため」「短期資金であるため」が同数となっています。

当期借入金の目的は何ですか。

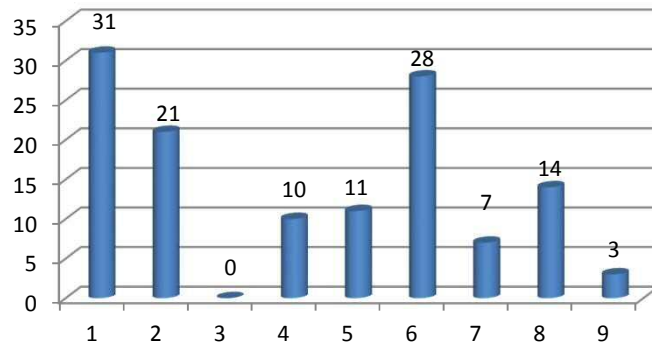
選択肢	回答数	構成比
運転資金	68	70.8%
設備資金	10	10.4%
運転設備資金	16	16.7%
無回答	2	2.1%
総計	96	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

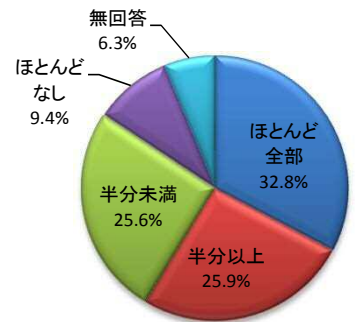
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	31
2 売上減少・赤字補填	21
3 過剰在庫対応	0
4 支払条件短縮対応	10
5 回収条件悪化対応	11
6 売上増加運転資金	28
7 在庫積み増し	7
8 季節運転資金	14
9 その他	3
総計	125



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が最も多く、次いで「売上増加運転資金」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(15年3月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

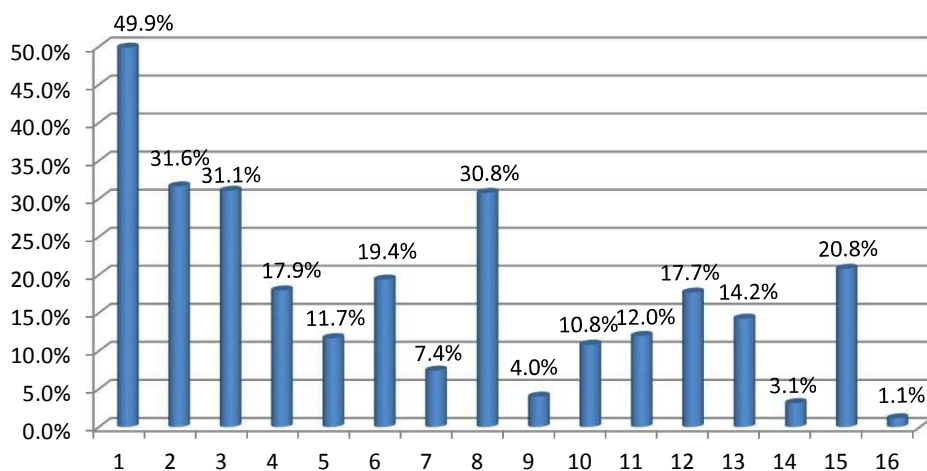
選択肢	15年1～3月期		14年10～12月期	14年7～9月期	14年4～6月期	14年1～3月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
ほとんど全部	115	32.8%	30.0%	26.2%	30.2%	29.0%
半分以上	91	25.9%	24.6%	25.9%	28.3%	27.9%
半分未満	90	25.6%	30.3%	30.0%	28.6%	26.5%
ほとんどなし	33	9.4%	8.4%	12.7%	7.9%	10.1%
無回答	22	6.3%	6.6%	5.2%	4.9%	6.5%
総計	351	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「ほとんど全部」が最も多く、次いで「半分以上」「半分未満」とする割合が同程度で並んでいます。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	175	49.9%	9 過剰在庫	14	4.0%
2 競争激化	111	31.6%	10 設備投資	38	10.8%
3 コスト高	109	31.1%	11 後継者難	42	12.0%
4 業界構造変化	63	17.9%	12 資金調達	62	17.7%
5 取引条件の悪化	41	11.7%	13 借入過多	50	14.2%
6 消費者ニーズの多様化	68	19.4%	14 為替	11	3.1%
7 技術・商品開発	26	7.4%	15 消費税増税	73	20.8%
8 人材・労働力の確保	108	30.8%	16 その他	4	1.1%



経営上の課題については、「売上・受注の減少(49.9%)」が最も回答割合が高く、次いで「競争激化(31.6%)」「コスト高(31.1%)」、「人材・労働力の確保(30.8%)」の順となっています。

